

# 令和2年度訪問看護に関する事業報告会 病院看護師出向研修事業報告



社会福祉法人恩賜財団済生会  
富山県済生会高岡病院  
看護部長 渋谷美保子



# 今回の出向研修の概要

---

出向期間

令和2年10月16日（金）～

12月15日（火）の2か月間

出向先

高岡市医師会訪問看護ステーション

研修生

林 佳用子看護師長



# ベストミックスを目指す

---

患者さんが地域でその人らしく暮らしていくために、その時どきに最も必要な医療を切れ目なく受けられる体制を提供し、地域包括ケアシステムに貢献する。



患者さんへのケアという視点

毎日のベッドコントロール会議

急性期病棟

地域包括ケア  
・回復期リハ  
病棟

訪問看護  
ステーション

退院前カンファレンス  
看護サマリー等

生活者へのケアという視点



その人にとって当たり前前生活を  
イメージすることや  
地域医療スタッフとの多職種連携  
があまり得意ではない

当院には致命的な弱み

訪問看護ステーションでの  
経験の必要性



# 様々な学びを得た

---

職員が訪問看護を経験することで

当院の退院支援の弱みが具体的に明らかになった。

当院が地域で果たす役割を、実践を通して理解できる職員が誕生した。



# 長期出向の難しさも・・・

---

看護師長の不在は、職員の不安感につながることもある。

→ 看護の質向上のチャンスをこの部署の師長が担うという動機付けが必要

出向元の業務と切り離せない側面もある。

→ 計画的な教育計画が必要



# 今後の課題

---

1. 報告会の実施
2. 訪問看護ステーション研修  
の導入

